

「全自衛隊少林寺拳法連盟で活躍する女性拳士たち ①」

護身の技術を修行することを通じて自己の変化や達成感を味わい、自信をつけることによって、職場や地域社会をリードしていく人間を育てるという少林寺拳法。防衛省・自衛隊において少林寺拳法の普及・振興等を担う全自衛隊少林寺拳法連盟で活躍する女性拳士を連載します。

第1回は、海上自衛隊徳島教育航空群少林寺拳法部 奥津杏奈さん。

Q 少林寺拳法を始めたきっかけは？

高校生の頃、私の将来の夢は、自衛官になり人の命を救うことでした。しかし、「自分の身を自分で守ることができなければ、人の命を救うことはできない。」と考え、護身術として少林寺拳法を始めました。

Q 海自徳教空群少林寺拳法部の雰囲気は？

当部では、月・火・木の夕方に基地内の体育館で練習をしています。部員は決して多いとは言えませんが、皆が集まることのできる時間を大切にし、楽しく練習に励んでいます。全自衛隊大会や昇段試験に向けての練習においては、部長に指導して頂くだけでなく、部員全員が教え合うことにより、互いに切磋琢磨できていると思います。

Q 今後の目標は？

業務と少林寺拳法の両立は容易ではありませんが、この練習を通じて辛いことから逃げ出さない強い心を身に付けたいと思います。そして、その精神的な強さをもって、自分の周りの人達を少しでも助けられる人になりたいと思います。

全自衛隊少林寺拳法連盟について

全自衛隊少林寺拳法連盟（会長 大越康弘 元防衛研究所所長）は、防衛省・自衛隊において少林寺拳法の普及・振興を図るとともに、関係団体の融和、親睦等を図ることを目的として一般財団法人少林寺拳法連盟に認められた団体である。現在、全国の基地・駐屯地に18の少林寺拳法部があり、約170名の拳士が活動している。少林寺拳法部がない基地・駐屯地の隊員でも、全自衛隊少林寺拳法部に所属することによって、昇段や大会への出場などが可能という。また、毎年一回、持ち回りで全国の基地・駐屯地において全自衛隊大会を開催しているのも特徴の一つ。（問合せ先：全自衛隊少林寺拳法連盟事務局長 生形良隆 08013643382）

